


北東地区

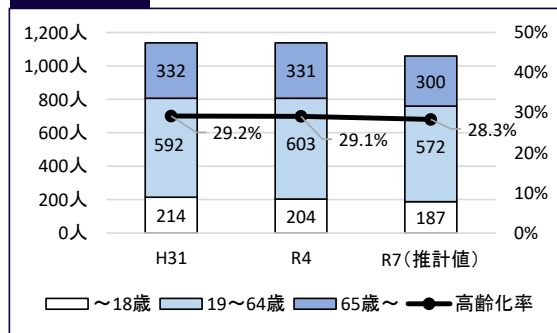
◆概要

	【位置図】	まち協名	北東地区まちづくり協議会		
		所在地	亀山市北町2-37	電話	0595-83-3118
		地区構成	北町 北山町 東台町 洪倉町 椿世町		
		地域特性	亀山市の北東に位置し、高台の商業地域に近い東台町、洪倉町、北町、北山町と低地の「中の山パイロット茶園」に通じる椿世町、新椿世等の自治会のエリアで構成されています。椿世町、新椿世は田畑が多く自然豊かなところですが、地区を分断して貫流する棕川があり、大雨などで氾濫の危惧され、自主防災組織に取り組むと共に、減災対策が行われています。また里山を復元した亀山里山公園「みちくさ」があり、環境学習・体験学習の場になっています。		
面積	154.8ha	ホームページ	https://hokutoumachi.wordpress.com/		
めざす姿	一人ひとりの力が輝き笑顔あふれるまち				
地域の誇り	商店や病院があり便利性が良く、穏やかで住みやすいところ				

◆人口

	平成31年	令和4年	令和7年 (推計値)	増減	
総人口	1,138人	1,138人	1,059人	0人	
人口密度	7.35人/ha	7.35人/ha	6.84人/ha	0.00人/ha	
65歳以上	人口	332人	331人	300人	-1人
	比率	29.2%	29.1%	28.3%	-0.1%
18歳以下	人口	214人	204人	187人	-10人
	比率	18.8%	17.9%	17.7%	-0.9%
外国籍	人口	37人	37人	0人	0人
	比率	3.3%	3.3%	0.0%	0.0%

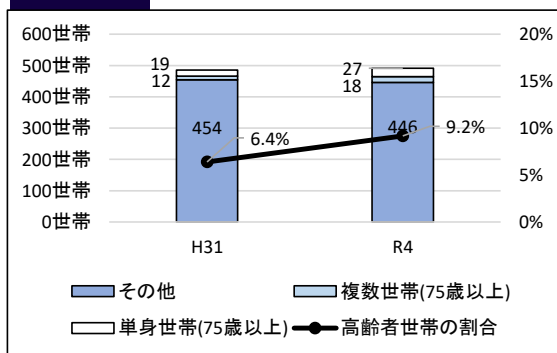
◆人口推移



◆世帯

	平成31年	令和4年	増減
総世帯	485世帯	491世帯	6世帯
単身世帯 (75歳以上)	19世帯	27世帯	8世帯
複数世帯 (75歳以上)	12世帯	18世帯	6世帯
高齢者世帯割合	6.4%	9.2%	2.8%

◆世帯推移



◆介護保険認定者

	平成31年	令和4年	増減
要支援1.2	19人	17人	-2人
要介護1～5	49人	38人	-11人
合計	68人	55人	-13人

◆地域組織

	平成31年	令和4年	増減
自治会	7	9	2
老人クラブ	0	0	0
子ども会	4	4	0

◆福祉・医療・教育等に関する社会資源

民生委員・児童委員	3
福祉委員	7
介護保険施設・事業所	2
サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム	0
障がい福祉施設・事業所	0
児童福祉施設・事業所	0
病院・診療所	4
歯科	2
保育所	0
幼稚園	0
認定こども園	0
放課後児童クラブ	0
放課後子ども教室	0
子育て支援センター	0
学校(小・中・高)	0
乗り合いタクシー停留所	18

◆担当地域包括支援センター

亀山第2地域包括支援センター もくれん

◆サロン活動

	平成31年	令和4年	増減
ふれあい・いきいきサロン	5	5	0
子育てサロン	0	0	0
コミュニティサロン	2	2	0

◆福祉委員会活動

◆構成員 民生委員・児童委員 福祉委員

◆活動内容

【交流活動】
三世代交流事業として、ふれあいもちつき大会を行っています。健康づくり教室やなかよしサロン(年4回)を行っています。

【訪問活動】
高齢者訪問活動を随時行っています。

【その他】
毎月介護予防教室を開催しています。



ふれあい文化祭



クリスマス会

◆まちづくり協議会の恒例事業

- ・健康祭り
- ・夏祭り納涼会
- ・ふれあい文化祭
- ・ふれあいもちつき大会
- ・敬老会
- ・クリスマス会
- ・自遊ひろば
- ・防災講座
- ・防犯・交通教室
- ・寄せ植え教室
- ・デイキャンプ

◆生活支援コーディネーターからのコメント

北東地区の人口は1,138人で、そのうち29.1%にあたる331人が65歳以上です。地域内491世帯のうち、9.2%にあたる45世帯が75歳以上のみで構成されています。また、地域内人口の3.3%にあたる37人が外国籍です。地域の特色として、コミュニティセンターを活用し複数のサロン活動が行われているほか、体操教室や卓球クラブの利用があるなど、さまざまな集いの場が存在しています。また、まち協役員及び部長間の連絡はICTを活用して行ったり、ホームページの周知を積極的に行うなど時代に応じた情報発信に力を入れています。生活環境として、地区内には、スーパーや銀行、病院が立地しているものの、土地の高低差が激しく、高齢者には徒歩で買い物等に行くことが困難な地区もあると考えられます。今後、高齢化が進むと、バス、タクシー、乗り合いタクシーを利用しないと買い物や医療機関に行けない人が増加することが予想され、地区内への移動販売やちょっとした困りごと(ごみ出し、草刈りなど)に住民同士で対応する支えあい・助け合いの体制づくりの検討する機運が高まっていくことが期待されます。